

学童部

作品展



百五銀行筋向橋支店様にて学童の子どもたちの作品を展示していただきました。

緩衝材でスイカやペットボトルキャップの海の生き物やプラスチックの風鈴など夏を感じる作品で掲示パネルが賑わっていました。



夏休みに学童の園庭にある畑で育てたミニトマトとスイカの収穫をしました。たくさん穫れた野菜は各学童に配り、おいしく食べました。鳥などに襲われることなく、まん丸のスイカができました!!



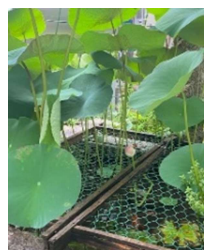
あこや

今年は一つだけ池の蓮が咲き、しっかり花芽をつけて咲く、蓮の底力を感じました。

土用に入った7月19日から6月に漬けた梅干しを庭に干しました。

土用干しは、あこやで梅干しを漬け始めて以来の恒例行事です。以前にお手伝い下さった住人さんの楽しそうな顔や、つまみ食いをして酸っぱい表情をされた住人さんなどが思い出されます。

このような恒例行事は、その時々のお出来事や住人さんとの記憶が呼び起こされる嬉しい瞬間です。



フレンズ

認定NPO法人ときわ会
藍ちゃんの家新聞 第二八八号

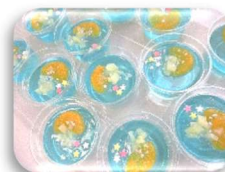
七夕に合わせた製作活動として織姫と彦星を作りました。

折り紙で形どられた顔に目や口を自由に描き、水玉のシールを貼った服の織姫と彦星、一人ひとり個性的で可愛く完成しました。

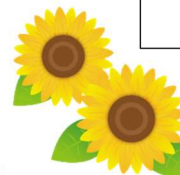
出来上がった作品を手に、子どもたちは楽しそうに写真を撮りました。

織姫と彦星、今年は夜空に架かった天の川を渡り一年に一度の再会ができたことと思います。

そして、フレンズの七夕の願い事は「みんなが元気で過ごせますように～」と空に向かって呟きました



七夕ゼリー★
いただきます!



静岡県が開発した教材を用いたHUGの研修を受けました

HUGはH：避難所（自主）、U運営、Gゲームの頭文字をとったものです。また、「HUG」には英語で「抱きしめる」という意味があります。「避難者を優しく受け入れる」といったイメージと重ね合わせて名付けられました。

災害が起きたと想定して、自主避難所を運営する立場になり、避難者の年齢、性別、など事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるのか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲームです。どのように対応するかを話し合いながら避難所の運営を学びました。



災害時に安全な場所へ避難